

■ 上高地・梓川(長野県)



写真撮影：柴草さん



※岩・幹・枝・山などのポイントをスケッチ細部は彩色で表現



作画：柴草さん (PM)

「作画、彩色の主な留意点」

1・マスキングの活用

- ① 溪流表現方法をメインに考えマスキングを駆使。
しぶきには細かく、激しい流れにはアクセントを付ける。
その他の流れには筋状に数を多くしてマスキングを使用。
- ② 樹木の枝の上部、岩の白模様にもマスキングを使用。

2・溪流に使った色(ブルー各種)

「セルリアンブルー、フタロブルーイエローシェード、インジゴ」
深みは「サップグリーン、シャドウグリーン」
川底の岩は「セピア、バーントアンバー」を使用。
マスキングの除去後も、飛沫以外に各種ブルーで着色しました。

3・遠くの山は薄めに、近くの林は濃淡を着けて遠近を表現しました。

(柴草)

※川の色は「深さ」「流れの速さ」「川底の状況」「周りの写り」等で季節によっても色合いが多彩に変わります。上の作品は溪流がとりどりの色で表現されており飛沫も重なって激しい流れの動きを感じる作品になっています。(伊藤)